

～ 回復期リハビリテーション病棟 芋煮会 ～

南2階回復期リハビリテーション病棟では、10月25日（木）病棟食堂ホールで、芋煮会を開催いたしました。

芋煮会では、ボランティアの方々によるフラダンスや歌などの熱いパフォーマンスを披露していただきました。会場は大いに盛り上がり、患者さんやご家族の方、また、参加したスタッフまで、沢山の刺激とパワーをいただくことができました。

芋煮は、スタッフがサポートする中、入院患者さんが主体となって、食材の買い出しから調理まで行っていただきました。とてもおいしい味噌味の芋煮をみんな笑顔で堪能することができました。

次回は、クリスマス会を予定しております。スタッフ一同、楽しいイベントになるよう、現在計画中です。ぜひ、お楽しみに！！



～ 居宅介護支援事業所ふかやから ～

10月に居宅介護支援事業所ふかやへ入職しました、ケアマネジャーの渥美郁枝と申します。

趣味は家族と一緒にドライブや小旅行に出かけることです。最近では、3人の娘が協力し、料理や家事などの手伝いをしてくれることが、とても嬉しく助かっています。

利用者さんが住み慣れた地域や自宅での生活が長く続けられるように、多職種スタッフと連携し、その中から最適なサービスを提供できるように支援してまいりますので、よろしくお願いいたします。



あつみ いくえ

ケアマネジャー 渥美 郁枝

～ 地域医療連携室 から ～

石巻市地域連携実務者ネットワーク研修会に参加して

11月1日（木）に石巻赤十字病院を会場として石巻市地域連携実務者ネットワーク研修会が開催されました。今回は「地域医療・介護の連携向上」を目的として、石巻圏域の特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設の相談員を招いての研修会となりました。

はじめに、石巻赤十字病院の副院長である矢内勝先生（呼吸器内科）より「石巻地域肺炎ネットワーク」という演題で、肺炎患者の治療・ケアを多職種で介入し、医療・介護・在宅において標準化していく取り組みについて、講演いただきました。

次に、医療機関、介護施設それぞれ2ヶ所ずつから報告があり、地域の現状を把握することができました。その後に行われたグループワークでは「身寄りのない患者・利用者支援」がテーマとなっており、医療と介護の現場で相談業務を行う者同士が共通して抱える悩みも多く、各グループで活発な意見交換が行われました。

今後、医療と介護の連携はますます重要となるため、このような研修会・勉強会に参加し、介護との連携を図るとともに、患者さんやご家族の方に対して、医療機関を退院した後も安心したサービスに繋がるよう、相談に努めてまいりたいと思います。

社会福祉士 鈴木重人



↑グループワークの様子



↑石巻赤十字病院 矢内 勝副院長
講演の様子

